

2021年10月27日

HOBIA NEWS No.376

- Bio Japan 2021 参加報告
- JBA セミナー視聴用のメルアドの作成について

● Bio Japan 2021 参加報告

浅野行蔵

緊急事態宣言も終了して、会場の雰囲気は活気があって賑わっているように見えた。講演会の会場は、イスが減らされて定員を抑えた運営で、参加者に制限がかかっている状況であった。展示では、海外企業のブースはほとんど無く、残念ながら未だ従来のBioJapanには戻っていなかった。展示会参加者数は、主催者発表 14891 人で昨年よりも増えているが一昨年には戻っていないとのこと。

セミナーや展示から興味をひかれた話題を拾って順序不同で書きました。

佐伯耕三氏（経済産業省 商務・サービスグループ 生物化学産業課長）

経済産業省のバイオベンチャー支援の取組と題したプレゼンの中で、バイオ産業の世界は、化学から合成生物学へと移っている。研究者も製造プラントも変えないと、産業構造の変化をリードしてゆけない。ちょうど以前は電機業界が、半導体へと移って行った姿と似ているとみている。ただイコールとは見ていない。

コロナワクチンを輸入に頼ってしまった反省している。国内で製造することの重要性がある。変化を捉えられる政策に投資する。平時は自社の商品を作ってコストを稼いでもらって、非常時にはワクチン製造に速やかに切り替えてもらえる様な国の投資をする。と力強い言葉であった。会場のバイオ社長サエキバ企業から、製造システムがあったならコロナワクチンは日本で製造できた。アメリカでは、ファイザーは2千億\$出した。とすかさず突っ込みが入った。

日本のバイオベンチャーは、どうするともっと発展するのかというセッションでは、切り口はいろいろある、一か所だけでは難しく、産学官の連携も大切。最近民間会社のベンチャー育成の試みがいくつも見られるようになってきた。

日本の大学は元気を取り戻せるか？ アメリカの大学では、学生の進路に多様性があるが、日本では大企業への流れが依然として強い。アメリカでは、大きな利益を上げたベンチャーから大学へ特許料が還元されて好循環がある。国内では、製造のインフラが乏しく、ベンチャー企業が委託できるところが少ない。日本の中で儲かったロールモデルをつくっていかないと。

iPS 細胞による再生医療に関する山中伸弥教授、高橋政代ビジョンケア社長、宮田満氏の司会のハイブリッド討論セッションも興味深かった。

手術がしやすく再生医療が進んでいると言われる眼科の状況を聞いた。そんな眼科分野でも、現状の再生医療を評すれば、1千万円かけての賭けの状況、まだまだ合理的治療には至っていない。自己細胞による処置なので1千万円は最低必要で、にもかかわらず成功率は未だ低い。治る人は素直に治るが、そうでない患者さんとの差異がまだまだ明確でない。治験と言うよりも、治療法を適応出来る患者さんをどの様にして事前に確定できるかが問題で種々の検査を行っており、薬の治験とは根本的に異なると見ている。高齢者が患者であることが多いので、免疫抑制剤を使いたくないので自己細胞移植になっている。

高橋先生は、理研におられたが、iPS 治療を真に理解して患者さんへの効果的な治療を行うには、起業して社長として運営することが必要だったと述べていた。

大学の研究室もたくさん展示していた。1 課題 1 ポスターで、担当の教員が説明していた。丁寧に説明してくれ、議論も出来てよい試みだと思う。訪問したブースでは皆さん丁寧に説明をしていただきました。

大学の研究者のアイデアを製薬企業が直接サポートする公開する試みも行われていた。ジョンソン・エンド・ジョンソンそして武田、は、大学の研究者を募集して、社内のメンターが伴走して、研究開発企画を仕上げ、研究を実施する。予算も青天井の柔軟企画で、アメリカで行われているものを日本の大学を対象に、日本人社員で行っていた。青田買いで育てる企画でそれぞれの企業内での状況の説明もあった。国のサポートよりもずっと速い速度で開発が進むと期待される。

お酒なし

今年のバイオジャパンはお酒ない。例年だと午後 4 時を過ぎると赤らんだ顔で歩いている参加者が見えるが、今年もお酒はない。ディスカッションの潤滑剤がない会場でした。

● JBA セミナー視聴用のメルアドの作成について

<JBA の団体会員としての Web セミナーの視聴 希望者にメルアドを発行します>

当協会は、JBA の会員となっております。ときおり JBA ニュースを転送させていただいております。ニュースの中にいくつも Web セミナーの案内があります。当協会の会員は、登録を頂ければ JBA 会員としてセミナーを視聴することができます。

そのためには、ドメインを@hobia.jp でメルアドを発行する→JBAWeb よりマイページ登録をHOBIA 会員として行う→JBA より登録された旨メールがくる→動画セミナーなど視聴可能となる→申し込みは、HOBIA 問い合わせホームから（題名：HOBIA 会員メールの発行願い）

HOBIAのホームページ <http://www.hobia.jp>

NPO法人 北海道バイオ産業振興協会
札幌市北区北21条西12丁目コラボほっかいどう内